

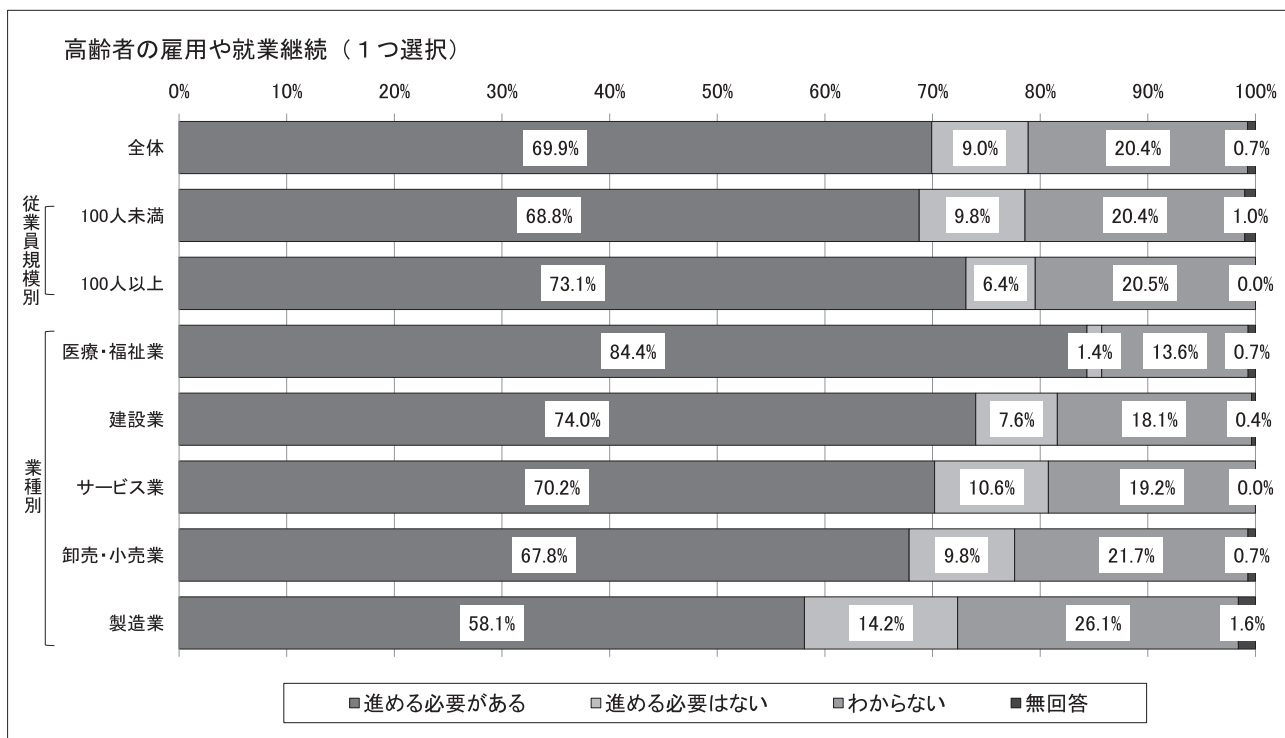
2 高齢者の雇用・就業継続

(1) 高齢者の雇用や就業継続の必要性

回答企業の約7割の企業が、高齢者の雇用や就業継続を「進める必要がある」と回答している。

「進める必要がある」と回答している企業は、従業員規模別に見ると、「100人以上」（73.1%）の方が、「100人未満」（68.8%）に比べて、やや多くなっている。

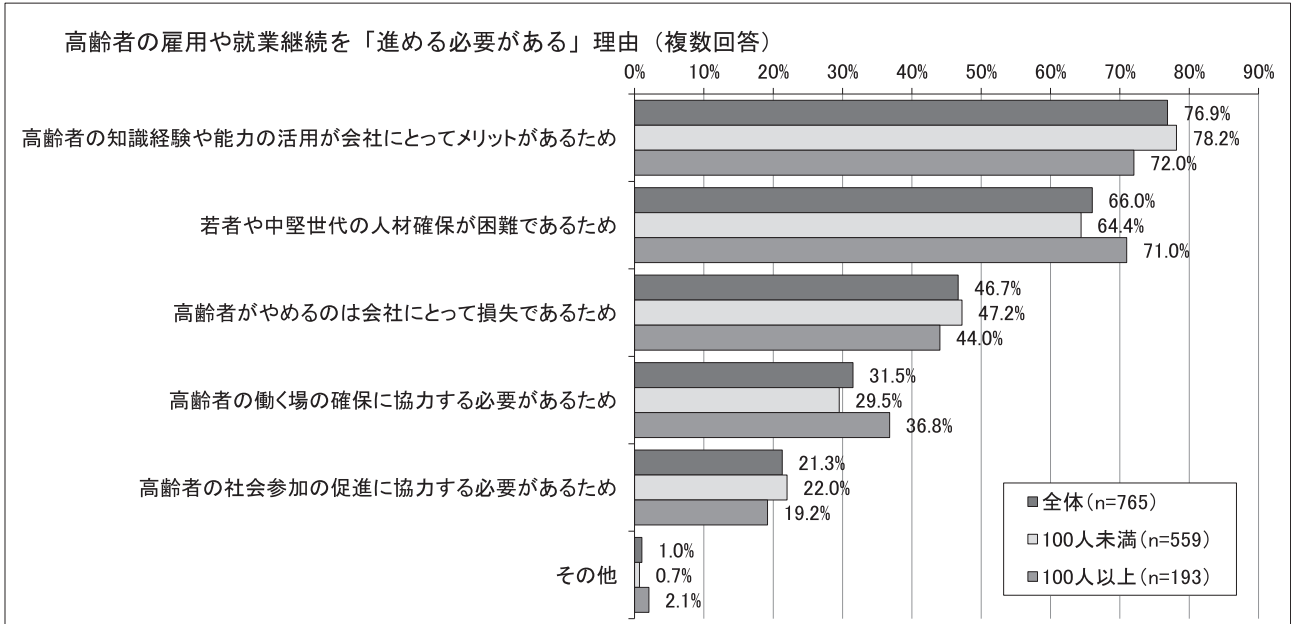
また、業種別に見ると、「製造業」（58.1%）、「医療・福祉業」（84.4%）などとなっており、業種によって大きな差が見られる。



高齢者の雇用や就業継続		必要がある	必要はない	わからない	無回答
全体	n=1094	69.9%	9.0%	20.4%	0.7%
従業員規模別	100人未満 n=813	68.8%	9.8%	20.4%	1.0%
	100人以上 n=264	73.1%	6.4%	20.5%	0.0%
業種別	医療・福祉業 n=147	84.4%	1.4%	13.6%	0.7%
	建設業 n=277	74.0%	7.6%	18.1%	0.4%
	サービス業 n=104	70.2%	10.6%	19.2%	0.0%
	卸売・小売業 n=143	67.8%	9.8%	21.7%	0.7%
	製造業 n=253	58.1%	14.2%	26.1%	1.6%

(2) 高齢者の雇用や就業継続を「進める必要がある」とした理由

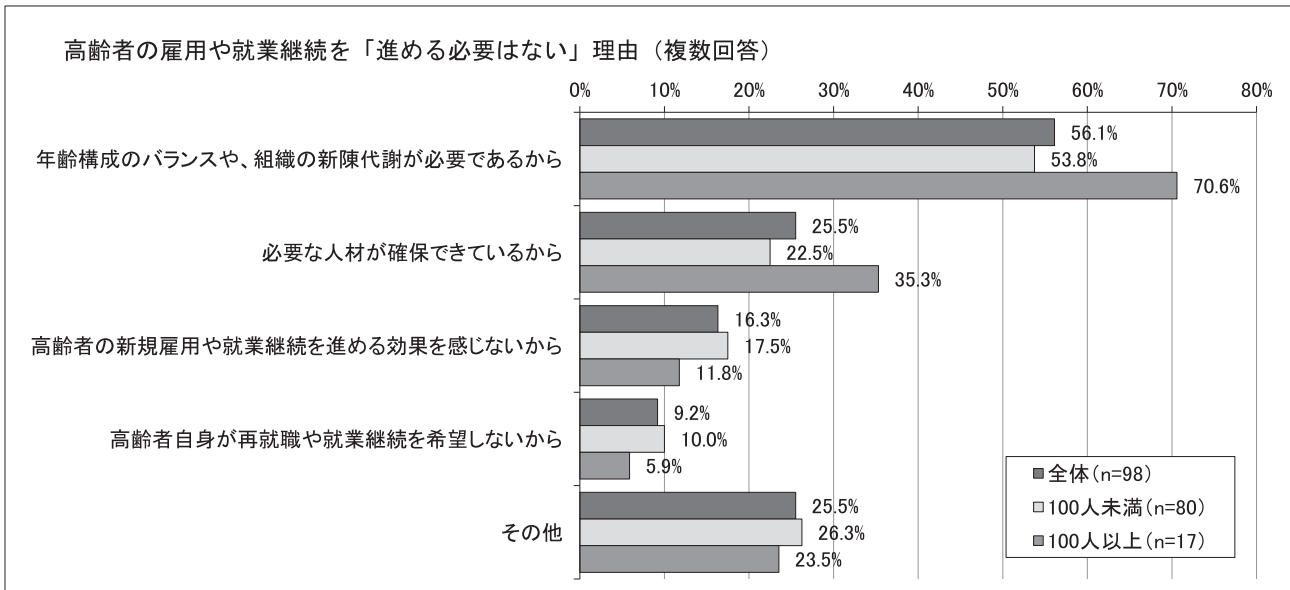
「高齢者の知識経験や能力の活用が会社にとってメリットがあるため」(76.9%)が最も多く、次いで、「若者や中堅世代の人材確保が困難であるため」(66.0%)となっている。



「進める必要がある」理由	全体		
	n=765	100人未満 n=559	100人以上 n=193
高齢者の知識経験や能力の活用が会社にとってメリットがあるため	76.9%	78.2%	72.0%
若者や中堅世代の人材確保が困難であるため	66.0%	64.4%	71.0%
高齢者がやめるのは会社にとって損失であるため	46.7%	47.2%	44.0%
高齢者の働く場の確保に協力する必要があるため	31.5%	29.5%	36.8%
高齢者の社会参加の促進に協力する必要があるため	21.3%	22.0%	19.2%
その他	1.0%	0.7%	2.1%

（3）高齢者の雇用や就業継続を「進める必要はない」とした理由

「年齢構成のバランスや、組織の新陳代謝が必要であるから」（56.1%）が最も多く、次いで、「必要な人材が確保できているから」（25.5%）となっている。



「進める必要はない」理由	全体		
	n=98	100人未満 n=80	100人以上 n=17
年齢構成のバランスや、組織の新陳代謝が必要であるから	56.1%	53.8%	70.6%
必要な人材が確保できているから	25.5%	22.5%	35.3%
高齢者の新規雇用や就業継続を進める効果を感じないから	16.3%	17.5%	11.8%
高齢者自身が再就職や就業継続を希望しないから	9.2%	10.0%	5.9%
その他	25.5%	26.3%	23.5%

【主な「その他」の内容】

- ・ 営業主体の会社なので、高齢者を使いづらい。
- ・ 業種上、体力を使うため、高齢者を雇用しにくい。
- ・ 義務ではないため。
- ・ 車を必要とする業種のため、65歳以上の運転に不安を感じる。
- ・ 年齢制限のある現場ばかりのため。
- ・ すでに高齢者の就業継続を行っているため。